

JYOJI-ROCK U22 GRAND PRIXにおける 新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン

令和2年 11月 23日策定
JYOJI-ROCK 事務局／ROCK JOINT GB

1. はじめに

新型コロナウイルスの感染が日本国内において広がり始めた当初から、音楽ライブ・コンサート(以下、「音楽コンサート」といいます。)は、その規模の大小を問わず、他の業種に先がけて自粛を行って参りました。このような早期の自主的な対応は、感染拡大防止のための一助となったことは明らかであり、アーティスト、スタッフ、その他音楽コンサートに関わるすべての方に改めて敬意を表明いたします。

政府の対処方針において、感染予防対策を講ずることを前提に観客を伴うイベント等の開催、収容率及び人数規制の段階的緩和、またさらには収容率の見直し検討の動きが示されています。ここでいう「音楽コンサート」には、演奏会、ミュージカル、オペラ、バレエなど音楽を主体とした公演全般が含まれますが、そのジャンルを問わず、「大きな声を出す」「観客が密集する」「地域をまたぐ移動が発生しやすい」等の、感染予防・感染拡大防止の観点から注意すべき要素・リスクが存在します。

音楽コンサートの開催にあたっては、ご来場のお客さまと公演関係者への意識啓発に努め、これまで業界が早期に自粛を行い継続してきた努力を無駄にしないためにも、JYOJI-ROCK U22 GRAND PRIXにおきましても、感染予防・感染拡大防止のためにできる限り慎重かつ周到な準備と対策にて臨むべきであると考えます。

【目次】

- 1.はじめに
- 2.本ガイドラインの位置づけ
- 3.感染予防・感染拡大防止のための基本的な考え方
- 4.コンテスト関係者が講じるべき具体的な対策
- 5.コンテスト会場の利用・設営等に関して講じるべき具体的な対策
- 6.コンテスト関係者が出演に関して講じるべき具体的な対策
- 7.来場される皆様（出演者・お客様・関係者）に関して講じるべき具体的な対策

2. 本ガイドラインの位置づけ

主としてJYOJI-ROCK U22 GRAND PRIXにおいて、新型コロナウイルス感染予防対策の基本的事項に加え、コンテスト参加者、及び来場されるお客さまへの対応を示しています。

コンテスト出演者は、対処方針の趣旨・内容を十分に理解した上で、本ガイドラインに示された「感染防止のための基本的な考え方」及び「講じるべき具体的な対策」を踏まえ、新型コロナウイルスの感染予防に取り組むとともに、社会基盤としての役割を継続的に果たすよう努力することが求められます。

本ガイドラインの内容も、今後の対処方針の変更のほか、感染状況を踏まえ、必要に応じて適宜改訂を行うものとします。

3. 感染予防・感染拡大防止のための基本的な考え方

これまでの専門家による研究を通じ、新型コロナウイルス感染症の主たる感染経路が「接触による感染」と「飛沫による感染」であることが知られるようになりました。また、発症前1日ないし2日前の無症状・無知覚状態が最も感染力が強いことと、クラスター対策の重要性が指摘されています。したがって、多くのお客さまが集まる音楽コンサートなどのイベント開催にあたっては、公演が行われる会場内はもちろん、会場周辺・公演前後においても「接触感染」と「飛沫感染」「マイクロ飛沫感染」のリスクをいかに極限まで減じるか、そして万一感染が発生した場合に感染経路の追跡を可能とすることを感染予防・感染拡大防止対策の主眼とします。

コンテスト出演者として、出演にあたっては、JYOJI-ROCK事務局、保護者、学校関係者等と協議の上、物理的・経済的に可能な限り対策を講じ、感染予防・感染拡大防止に万全を期さなくてはなりません。

出演関係者自身はもとより、来場されるお客さまに対しては公演会場において講じる対策と併せ公演前後における対策を丁寧にお伝えし、感染予防・感染拡大防止意識の啓発に努め、お客さまへの「能動的参加」への理解を促していく必要があります。

コンテスト出演者は、学校での事前打ち合わせやスタジオでのリハーサル等の練習過程も含め、当該コンテストの出演者及びその公演に携わるすべてのスタッフ(以下、「公演関係者」といいます。)への新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、最大限の対策を講じなければなりません。また、学校、スタジオ、会場(以下、「公演会場等」といいます。)の利用にあたっては、同様に適切な感染予防対策を講じなければなりません。

特に、1 密閉空間(換気の悪い密閉空間である)、2 密集場所(多くの人が密集している)、3 密接場面(互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる)という3つの条件(いわゆる「三つの密」)のある場所は、感染を拡大させるリスク、すなわち「接触感染」と「飛沫感染」を誘発する機会が高いと考えられます。本ガイドラインは、これを避けることで、自己への感染を回避するとともに、他人に感染させないように徹底することを旨としています。

上記に基づき、

(1)来場されるお客さま及び公演関係者に周知し、共有すべき「基本行動ルール」を、さらに、コンテスト会場においては(2)の公演会場における基本的対応を行う必要があります。

(1)来場されるお客さま、公演関係者にて共有すべき「基本行動ルール」:

▶基本的感染対策:接触感染・飛沫感染・マイクロ飛沫感染への対策・物理的身体的距離の確保・接触機会を減らす・マスク着用・大声を出さない(公演中の歓声、声援も含む)・咳エチケットの徹底・手洗い・手指消毒の励行・「三つの密」の回避(密閉・密集・密接)・日常健康管理(体温測定、健康状態チェック)・コイントレーを使用しての接触機会の削減

(2)公演会場における基本的対応

- ・原則、マスク(又はフェイスシールド)着用を義務化
- ・会場内(周辺含む)では出演者を含む公演関係者、来場されるお客さま、会場管理者を問わず、人と人との確保すべき間隔をできる限りあける。

※入退場時、トイレ、飲食物販などの待機列、場内における滞留、設営・撤去時のなど一切を対象とします。

- ・会場内では上記「基本行動ルール」、及び<「新しい生活様式」の実践例>に基づき、場内外アナウンスやボードの掲出によりその周知徹底を図ります。

- ・来場されるお客さまには上記基本事項とともに「主催者の指示に従わない場合には退場していただく等の措置をとる」ことにつき事前に告知します。

※コンテスト会場は、JYOJI-ROCK事務局により防災計画、整理・警備員配置、安全なコンテスト運営と非常時緊急避難誘導体制が保全されます。公演中はもちろん、公演前後・休憩時間においても場内整理・警備員により来場されるお客さまに上記対策を徹底していただきます。

4.コンテスト関係者が講じるべき具体的な対策

コンテスト出演者を含む公演関係者は、「たった一つの失策が社会からの安心感・信頼感を損ない、その後のイベント開催やライブ・エンタテインメント産業、社会全般に芳しくない影響を及ぼす」ことを肝に銘じ、スタッフ一人一人が緊張感をもって業務に当たらなければなりません。

少しでも体調が悪いと感じた場合には、勇気を持って休むことが必要であり、同時に、コンテスト主催者・関係者は、スタッフに体調不良者が出た場合、可能なバックアップができる体制を構築しておくことも求められます。

4-1 公演関係者による感染予防・感染拡大防止策

▶コンテスト出演者を含む公演関係者には毎朝の検温を義務づけ、以下のいずれかに該当する者は業務に従事させないこととします。(直ちに自宅待機とし、必要に応じ保健機関に連絡する)業務に従事させる必要性が高い者であっても、感染拡大により生じる重篤な結果を常に想定します。

- ・業務に従事する当日または前日に 37.5℃以上の発熱・咳・下痢・味覚障害・嗅覚障害・だるさ・息苦しさ等の症状がある者
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性と判明した者との濃厚接触がある者
- ・同居家族や身近な知人が体調不良の者
- ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航及び当該国・地域の在住者との濃厚接触がある者
- ・新型コロナウイルス陽性判定を受け、現在医師に自宅待機指示を受けている者

▶表現上困難な場合を除き、原則としてマスクの着用を求めるとともに、手洗いを徹底します。出演者の出演時等、マスクの着用ができない場合については、「4-2公演関係者の身体的距離の確保等」の記載事項を確実に遵守します。

▶公演関係者の緊急連絡先や勤務状況を把握し、名簿を作成します。

名簿は3週間より長い期間保管すること。また、コンテスト出演者・関係者、個人に対しては、それら情報が必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知し事前承諾を得ることとします。公演関係者の名簿作成者(主として公演主催者)は個人情報の保護の観点から、名簿等の保管には十分な対策を講ずることとします。(後日、会場内に感染者がいたことが判明した場合等に保健所などに申告内容を伝える等が想定され、その了承を事前に得ておく必要があります)

▶開催地域の感染状況を踏まえ、来場客等の不特定多数と接するスタッフについては、マスク及びフェイスシールドを着用させることとします。

▶来場者(お客様)に入場時に氏名・電話番号の記入を促す。

4-2 コンテスト関係者の身体的距離の確保等

▶コンテスト関係者間でできる限りの身体的距離が確保できるよう、スタッフを兼任とする等の工夫を行うことにより、コンテスト関係者の人数は必要最小限に限定します。

▶身体的距離の確保が困難な場合、フェイスシールド等、身体的距離を置くことと同等の効果を有する措置を講じます。

▶公演関係者の人数を最小限にすべく、作業工程の見直し等工夫をします。

・仕込み、リハーサル、撤去等において、十分な時間を設定し、密な空間の発生防止を徹底します。

・注意事項／事前打ち合わせも、動画での提供やメールでのやりとりなど、十分な感染防止策を講じます。

4-3 食事とケータリング

▶すべての飲み物は表面の汚染を防ぐ方法を用い、1回分ずつ分けて配布するものとします。

▶食事は会場内では提供いたしません。また、持ち込んでの飲食は禁止いたします。

4-4 ステージにおける感染防止策

▶出演者は、公演中も出演者同士の身体的距離を確保するようにしていただきます。また、身体的な接触は控えるようにしていただきます。

▶ライブ出演者(ステージ上)から観客との間は2メートル以上を確保するように徹底します。

▶マイクは出演者毎にグリル(ウインドスクリーン)の消毒又は、交換をいたします。

▶マイクの使用の前後には、手洗いや手指消毒を行うとともに、使用した機器の消毒を徹底して行います。

▶ステージの周辺は飛沫感染のおそれがあるため、ステージ周辺で作業を行う公演関係者は、作業の前後に手洗いや手指消毒を行うとともに、ステージ機器の消毒を徹底して行います。

4-5 ヘアメイクと衣裳

▶出演者控え室（楽屋）に手指消毒液を配置して、ヘアメイク時には消毒して行うことを指導いたします。又、用具を他の出演者に再利用することは行わないものと指導致します。

▶衣裳の着脱の前後に、コンテスト出演者には手洗いや手指消毒を推奨いたします。

4-6 トイレ

▶トイレの蓋を閉めて汚物を流すように促します。

▶ペーパータオルを使用するか、個人用にタオルを準備する事を推奨いたします。

▶公演関係者が床、便器、ドアノブを消毒します。

▶トイレ後は必ず石鹸で手を洗い、手指消毒を行うように促します。

4-8 換気

▶ROCK JOINT GBは動力での換気設備が常時作動しています。

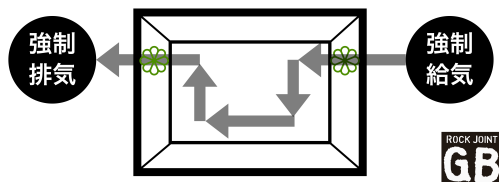
▶CO2測定器を設置し、必要に応じて積極的に換気を行うようにします。

▶楽屋内、受付、会場内に、プラズマクラスターの空気清浄機を複数台設置します。

当店は動力による強制換気装置が

常時稼動しております。

*外気が入りますのでだいぶ寒いですがご理解ご協力下さい。



4-9 清掃・ゴミの廃棄

▶清掃やゴミの廃棄を行う者は、マスクや手袋の着用を徹底します。

▶作業を終えた後は、手洗いや手指消毒を行います。

4-10 体調不良の者が発生した場合の対応策

i. 会場内で体調不良の者が発生した場合のコンテスト関係者(スタッフ)の措置

▶発生時は、まず

- 1 体調不良の方にはマスク・フェイスシールドを着用させ、
- 2 換気・風通し良いところに案内し、
- 3 指示があるまで待機とします。会場管理者を通じ最寄り保健所に連絡し、指示を仰ぎます。

▶(保健所の指示に基づき)自宅待機、もしくは必要があればあらかじめ連携している病院に連絡し、引き受けを依頼、応諾されたら病院指定の移動方法で病院まで行っていただきます。

▶なお、上記に対応する者(スタッフ)はマスクとフェイスガード、手袋の着用・着装を徹底します。

ii. 【公演関係者に体調不良の者が発生した場合】

▶速やかに該当者の隔離等を行い、人との接触をできる限り避けなければなりません。速やかに保健所へ連絡し、指示を受けることとし、保健所等当局の聞き取りに協力し、必要な情報提供を行います。感染が疑われる者は保健所の指示によって必要に応じて直ちに帰宅させ、自宅待機とします。

▶発熱等の症状により自宅で療養することとなった者は、毎日健康状態を確認するものとし、必要に応じて新型コロナウイルス感染症の検査を受けるものとし、検査結果が陰性であっても、症状が改善してから最低 48 時間が経過するまでは参加を認めないものとし、します。

iii. 【来場されるお客さまに体調不良の方が発生した場合】

▶該当するお客さまを速やかに誘導案内し、人との接触をできる限り避けていただく。最寄り保健所へ連絡し、その指示に基づき、対応します。

4-11 周知・広報

▶以下について公演関係者に対して周知・広報します。

- ・咳エチケット、マスク着用、手洗いの徹底
- ・身体的距離の確保として、できる限り距離の確保をとっていただくことの徹底

5. コンテスト会場の利用・設営等に関して講じるべき具体的な対策

5-1 基本的事項

- ▶会場入口及び楽屋、場内にアルコール手指消毒剤を設置し、手指消毒を奨励します。
- ▶ドアノブ、手すり等の公演関係者が接触する可能性がある設備及び共有する機器に関しては、頻繁な清拭消毒を行うものとします。
- ▶機材や備品、用具等の取扱い者を選定し、不特定者の共有を制限します。
- ▶会場施設等の管理者の指導の下、適切な換気を行います。
- ▶会場内、楽屋は常時換気を行うものとし、またドアノブや椅子等、手が触れる場所は定期的に消毒を行います。

5-2 出演者と来場客との物理的距離の確保(飛沫感染・接触感染防止)

- ▶舞台と客席との距離は最低 2 メートルとします。

5-3 客席部スタンディング対応

- ▶床面に 1 メートル毎に目印をつけ、来場者間でソーシャルディスタンスをとれるように致します。

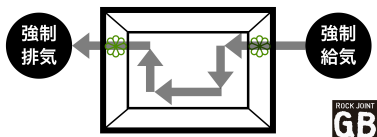
5-4 会場内換気対応

- ▶コンテスト会場 (ROCK JOINT GB) は動力での換気設備が常時作動しています。
- ▶CO2測定器を設置し、必要に応じて積極的に換気を行うようにします。
- ▶楽屋内、受付、会場内に、プラズマクラスターの空気清浄機を複数台設置します。

当店は動力による強制換気装置が

常時稼動しております。

*外気が入りますのでいふさいですがご理解ご協力下さい。



5-5 会場内外の待機列

- ▶待機列が必要な場面(入退場、トイレ待ち等)においては、来場客同士が十分な距離を確保して整列できるように、極力、目印となる掲出物や足下マーク等の設置を行います。
- ▶来場客への対面对応が必要な場所においては、アクリル板を設置し、飛沫感染防止策を施します。

6. コンテスト関係者が出演に関して講じるべき具体的な対策、及び禁止事項

- ▶ コンテスト参加において、JYOJI-ROCK 事務局のガイドラインに従い、参加同意書の提出（事前提出）、そして、出演日当日には出演各自の申告書（体調など）を提出していただきます。（申告書は後日公式ホームページにてPDFデータで掲載致します。）
- ▶ 演奏中にお客さまに必要以上に近づいたり、ステージ上にあげるなどの参加型演出を禁止します。
- ▶ お客さま同士の密接を招く演出を禁止します。（モッシュなど）
- ▶ 出演者とお客さまとの接触ならびにお客さま同士の接触（ハイタッチ、手をつなぐなど）を招く演出を禁止します。
- ▶ お客さまに歌わせる、コール&レスポンスを要請するような演出を禁止します。
- ▶ (館内環境に注意し)お客さまには十分な休憩時間の確保を心掛け、館内換気を励行します。
- ▶ お客さまへ「基本行動ルール」の周知徹底を促すことを励行します。

7. 来場される皆様（出演者・お客様・関係者）に関して講じるべき具体的な対策

以下、公演に来場される皆様に対するご案内事項(事前承諾いただく事項)を示しています。

- 1 事前の予約制として、原則予約者のみ入場可。既定数以上にならないようにコントロールいたします。（キャパシティの3分の1程度）
- 2 当日券については、滞在者数、帰宅者数を掌握。規定数以上にならないか確認の上、入場可能かどうか判断して、SNS、店頭にて随時更新する。

- ▶ 以下の事項について、お客さまには来場前に事前確認・誓約ないし承諾いただく。
 - ・ 個人属性(氏名・電話番号)の記入。
 - ・ 新型コロナウイルス陽性判定を受けていないこと、現在医師に自宅待機指示を受けていないことの誓約。
 - ・ マスク又は、フェイスシールドを着用することの承諾
 - ・ 後日、会場内に感染者がいたことが判明した場合に保健所などに申告内容を伝える可能性がある旨の了承。

7-2 コンテスト出演者の出演当日の自己申告書の提出

▶以下の全ての項目にあてはまる方は出演していただけます。

・公演日前 14日以内に政府から入国制限ならびに入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航がなく、またその当該国・地域の在住者との濃厚接触がないこと。

・公演当日、外出前に自宅で検温し、37.5 度未満であること。

(公演会場入場時にサーモメーターによる検温実施も検討する)

・咳、下痢、味や匂いを感じない等の症状がないこと。

・新型コロナウイルス感染症の陽性と判明した者との濃厚接触がないこと。

・同居家族や身近な知人の感染が疑われる方がいないこと。

・新型コロナウイルス陽性判定を受けていないこと、現在医師に自宅待機指示を受けていないこと。

・マスク又はフェイスシールドを持参し、ライブ演奏中（ステージ上）以外は着用していただけること。

(注)基本的にお客さまにはマスク又はフェイスシールドの着用を義務としていただきます。

7-3 会場内禁止行為について

▶会場内外において、一般的禁止行為(他のお客さまの迷惑になる行為等)に加え、感染予防・感染拡大防止対策に基づく係員の指示に従わない場合、退場いただく場合があります。その事前告知を徹底します。

▶対象とする行為：大声による発声、モッシュ等

7-4 コンテスト出演者の会場内の滞在時間の短縮に努めます。(事前案内事項)

▶注意事項、確認事項などは事前に動画やメールにおいて周知いたします。

▶集合時間は出演時間の60分前とする。

▶演奏終了後は適宜解散を促す。

▶コンテスト結果は後日発表する。

▶会場周辺を含めたお客さまの物理的距離の確保に留意。

7-5 感染者(陽性者)確認連絡

- ▶公演開催後、地方自治体、保健所等から連絡があった場合にはお客さま、公演関係者の自己申告内容の情報を提供します。
- ▶公演当日、会場内に感染者(陽性者)がいたことを速やかに告知します。

7-6 感染予防・衛生面に関する協力依頼事項

- ▶入場時の手指消毒。
- ▶会場諸施設・備品等に接触しないこと。
- ▶お客さま同士、公演運営スタッフとの物理的距離の確保。
- ▶場内での大声での会話を控える。

以上、JYOJI-ROCK U22 GRAND PRIX における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインに基づき、感染予防を徹底し、関係者の皆様の「安心感」「納得感」を獲得し、円滑で気持ちの良い、そして、参加者の皆様の成長の一助となるコンテストとして開催を行ってまいります。